

H364-641 一筆書きチェックのバッグ



<2012S/S>

この作品はテキスト2枚です(2-1)



デザイン/後藤輝子(下山グループ)

☆でき上がり寸法 幅約32cm、深さ約27cm、マチ約10.5cm。

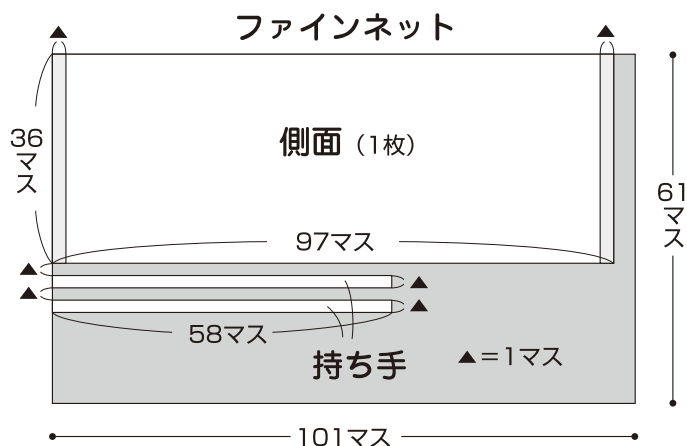
☆使用糸 エコアンダリヤ《ラフィー》(40g玉巻) (廃番)

	①	②	使用量
イ色	紺(No.612)	赤(No.607)	1.3玉
ロ色	水色(No.616)	濃ピンク(No.621)	0.5玉
ハ色	グレー(No.614)	濃ベージュ(No.615)	0.5玉
ニ色	白(No.611)	白(No.611)	0.2玉

- ☆副資材
- ・ハマナカあみあみファインネット ①② (H200-372-2・黒).....1枚
 - ・ハマナカダ円モチーフ ①② (H202-551-2・黒).....1枚
 - ・ハマナカマグネット付丸型ホック(18mm) ①② (H206-041-3・アンティーク).....1個
- ☆用意するもの ハマナカクラフトハサミ(H420-001)。
- ☆使用針 ハマナカアミアミ片かぎ針(金属製)5/0号、毛糸とじ針(H250-706)

1 ネットをカットし、組み立てます。

下図のようにファインネットとダ円モチーフをカットし、側面、底を図のように組み立てて、仮止めしておきます。

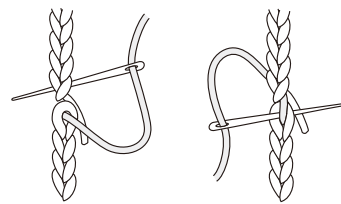


- = カットする部分
- = 重ねて仮止め
- ▲ = 1マス

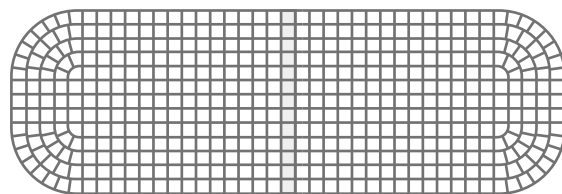
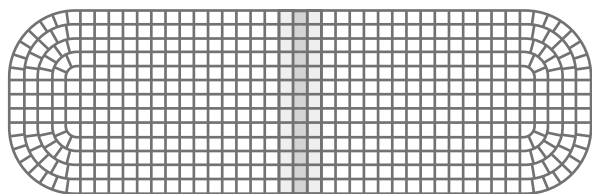


チェーンつなぎ

- ① 編み終りの目の糸を引き出し、針に通して編み始めの目に通します
- ② 図のように針を通して裏側で糸の始末をします



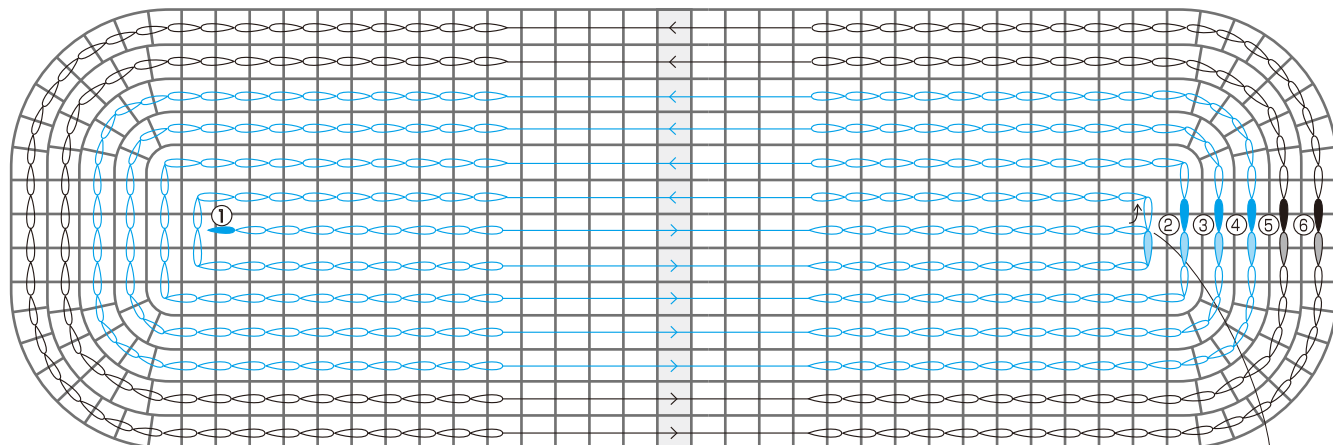
ダ円モチーフ(底) (1枚)



2 底を編みます

下図のようにダ円モチーフの内側から引き抜き編みで編みます。

底 (1枚) — = イ色
— = ロ色



- = 編み始め
- = 編み終わり
- = ネットの重なり部分

※②～⑥段めの編み始めと編み終わりはチェーンつなぎをする。

チェーンつなぎ

3 側面に編みつけます

- (1)側面に配色しながら引き抜きを①～⑥の順に編みつけます。
- (2)口側を縁編み①～⑤で編みます。
- (3)底側を縁編み⑥で引き抜き編み1周し、縁編み⑦で底と側面をとり合わせます。

(1)の①～⑥の編み方

- ① 編み始め (←) 位置から図に沿って編み進むと、側面2周めの最後に、編み始め (←) 位置に戻ってくる。戻ってきたらそのまま続けて左横に2マス引き抜き、先ほど引き抜いた列の左隣の列を引き抜いていく。同じ要領で①を完成させる。
- ② 編み始め (→) 位置から図に沿って編み進むと側面2周めの最後に編み始め (→) 位置に戻ってくる。戻ってきたらそのまま続けて左横に1マス引き抜くと②の完成。
- ③ ④ ⑥ は①と同じ要領で、⑤は②と同じ要領で編む。

側面 (1枚)

— = イ色 — = 八色
 — = 口色 — = 二色

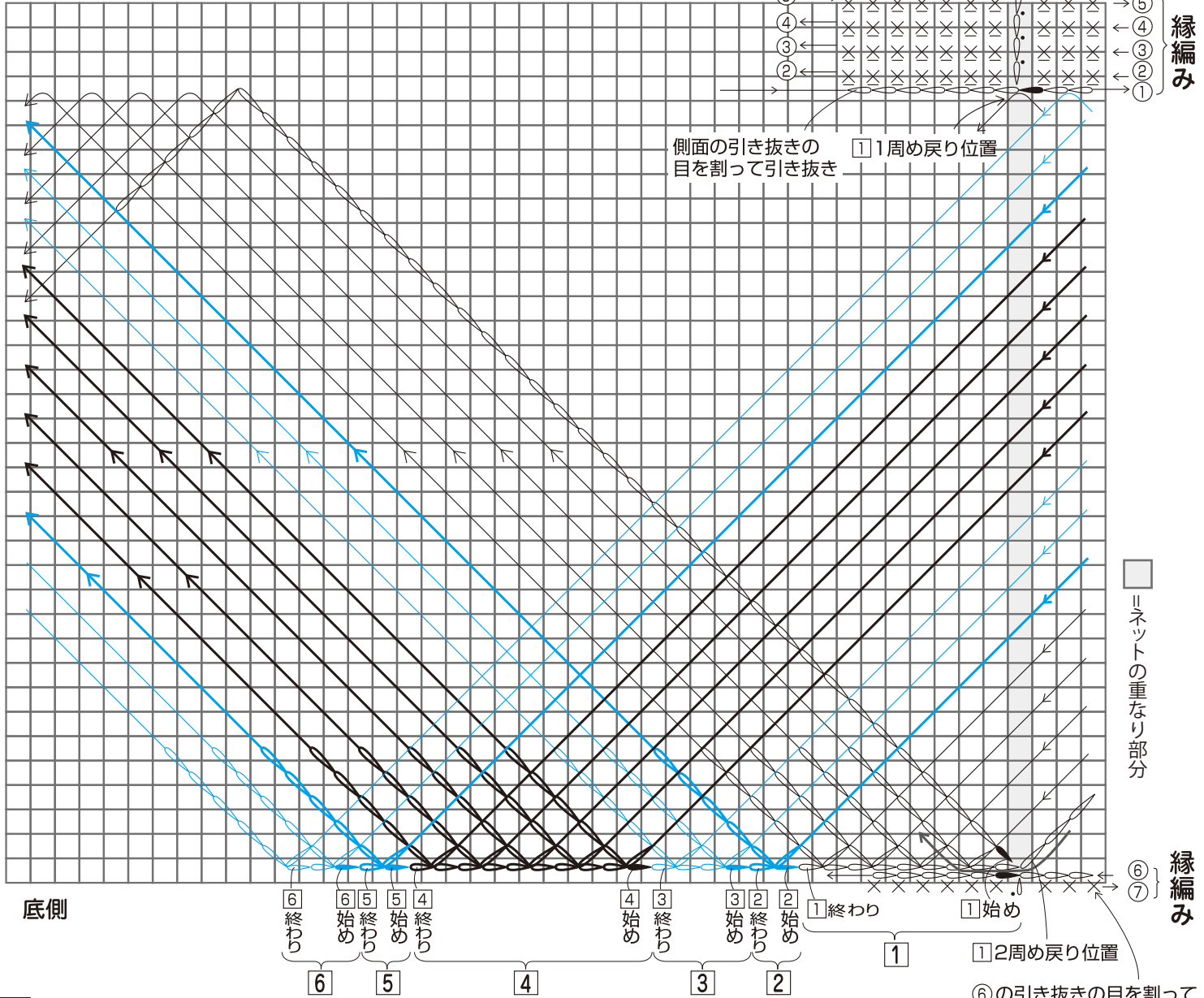
× = すじ編み (前段の細編みの頭目又は鎖目の向こう側半目を拾って細編み)

⊗ = バック細編みのすじ編み

口側

1マス重ねる

※スペースの都合上ネットと編み図を省略しています。



縁編み
⑤
④
③
②
①

■ ネットの重なり部分

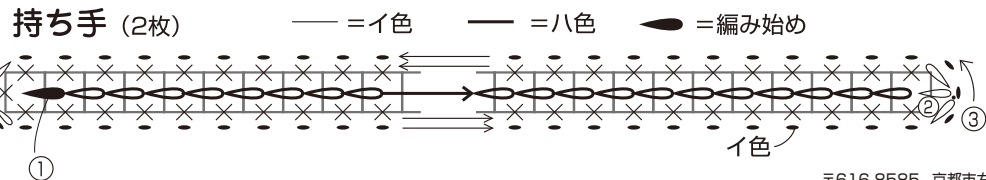
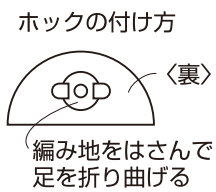
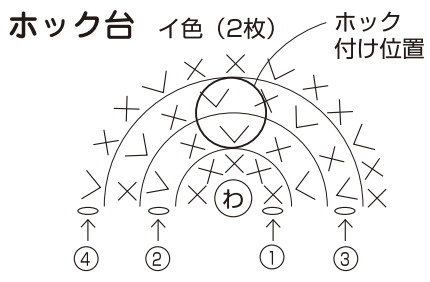
縁編み
⑥
⑦

底側

⑥ 終わり ⑥ 始め ⑤ 終わり ⑤ 始め ④ 終わり ④ 始め ③ 終わり ③ 始め ② 終わり ② 始め ① 終わり ① 始め
 ① 2周め戻り位置
 ⑥の引き抜きの目を割って底ネットととり合わせる

4 仕上げます

- (1)持ち手を作り、側面にとじつけます。
- (2)フック台を作り、フックを付け、側面にとじつけます。



でき上がり図

